

鶏卵の安定供給を図るための生産・流通対策パッケージ

食生活上、重要なタンパク源である鶏卵について、鳥インフルエンザが頻発する中でも安定的な供給を確保するため、これまで進めてきた**飼養衛生管理の徹底の一層の推進**を前提に、以下の対策を講じる。

1 分割管理の集中推進

- 大規模農場や鳥インフルエンザ既発農場における分割管理の導入の促進を強化
 - ・ 集卵ベルトの扱いの見直しなど「取り組みやすい分割管理」の導入
 - ・ 県が殺処分後の経営再開の可否を判断する際の分割管理の意向確認を強化
- ※消費・安全対策交付金ハード事業や、畜産クラスター事業等でハード面も支援

2 スマート畜産技術による飼養衛生管理・疾病予防対策の高度化

- スマート畜産技術に関する検討会を立ち上げ、官民で共同して、家畜防疫の強化及び生産性の向上に資するスマート畜産技術の開発、実装を加速化
 - 〈技術開発のイメージ〉 AIを活用した感染鶏の早期発見・畜舎内環境の最適化 等

3 液卵の製造・利用の更なる推進

- 鶏卵の供給ひっ迫時にも家庭向けのパック卵を安定的に供給できるよう、特に**外食・加工用**について、**保存性の高い液卵へのシフト**をさらに進めるため、**液卵関係施設を支援**